

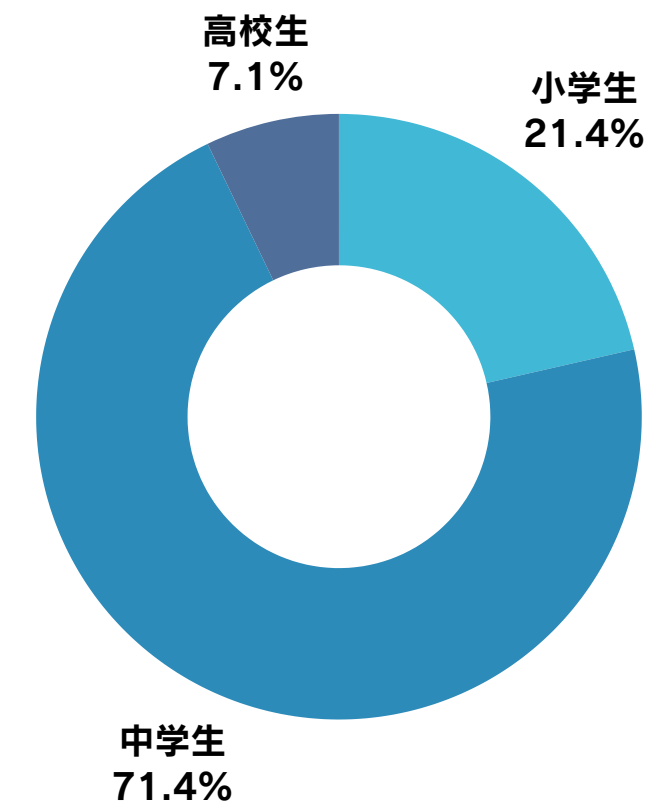
わっか 月次報告書 2026年3月

78号

古民家で子どもたちと何でもない日々を重ねたい

2026年3月の開放日数 **7日**

一緒に時間をすごした人数 **28人**



久々に、土間から何かを作っている音が聞こえてきます。古民家の土間には、廃材や大工道具などを置いているので、ときどき、こうして子どもたちが何かを作ることがあります。先日は椅子でした。そういえば、だいぶ前にも椅子を作っていました。どうしてなのでしょう。どうやら、椅子を作りたくなるようです。

4月のことを書いてしまいましたが、最近は中学生と高校生が毎日のように来てくれています。小学生のころから来ている子たちです。高校へは電車で通っているのに、わざわざ寄ってくれる。ありがたいなあと思います。この年齢になると、米原市には児童館もないので、こうして集まれる場所はあまり多くありません。



よかったら遊びに
来てね

夜会

★3月の星空で遊んだ人数

こども 39人

おとな 9人

(いずれものべ人数)



インスタやってます。活動の様子をのぞいてみてね

https://www.instagram.com/npo_wacca/



3月は別れの季節。いつも来ている小学6年生。「部活、何しようかな」。中学校生活への期待を込めた、弾んだ声。けれど次の瞬間には、「誰とクラスになるかな」「勉強、わかるかな」と、少しだけ不安げな表情も見せます。

卒業식을控え、学校では練習が続いているのでしょう。自然と、みんなで卒業式の歌を口ずさみ始め、だんだんと大合唱になり、お互いに卒業を祝いあっているよう。呼びかけのセリフを言い合いながら、「誰が泣くかな？」なんて笑い合う姿も。

寂しさ、楽しみ、不安。色んな気持ちが混ざり合った、複雑な心の内を、夜空の下でそっと吐き出しているよう。卒業を前にした子どもたちの、揺れ動く心に寄り添う時間となりました。